

## 基本情報

所属	法学部 法律学科	氏名	古屋邦彦 FURUYA Kunihiko
職名	教授	E-mail	furuya@kiu.ac.jp
		研究室ウェブサイト	



### ■ 学歴・取得学位

1966(昭和41)年3月	慶應義塾大学法学部卒業 法学士
---------------	--------------------

### ■ 主な職歴

1966(昭和41)年4月 ～2000(平成12)年3月	日本揮発油(現日揮)株式会社入社
2000(平成12)年4月～	九州国際大学法学部

## 教育活動

### ■ 主な担当授業科目

○ 学部：国際取引法、企業法務論、企業とリスク、2年次生・3年次生演習
○ 大学院：修士論文指導

### ■ 教育上の特記事項

○ 教科書・教材：特になし
○ 教育活動：特になし
○ 免許・資格：普通自動車、自動二輪車運転免許

## 研究活動

### ■ 研究分野

研究分野	国際取引法
主な研究テーマ	国際取引契約
キーワード	リーガルマインド、国際プロジェクト

### ■ 主な著書・論文等

著書 『海外建設工事』、"ENAA Model Form International Contract", 『日中技術・設備契約モデルフォーム』、『国際プロジェクトビジネス』文真堂、『日中技術・設備契約モデルフォーム』、『国際商取引とリスクマネジメント』、国際商取引事典
論文 IPRA(国際プロジェクトのリスクマネジメントツール)(平成18年)、国際プロジェクトにおけるリスクの最適分担(平成19年)、CM方式によるプロジェクト遂行(平成19年) パートナリングからアライアンスへ(平成21年)
学会発表(平成22,23年度のみ)

国際プロジェクトにおける階層的契約リスク、階層的契約リスクの回避戦略、国際プロジェクトにおける契約リスク、日中技術・設備契約モデルフォームと中国の法規制

その他  
特になし

#### ■ 大学就任以前の主な業務上の実績

1990(平成2)年6月 ～1992(平成4)年5月	(財) エンジニアリング振興協会契約法務研究会委員長としてプラント輸出契約国際標準約款(英文)1992年版(約700頁)の作成を監修。出版当初から同約款は <b>世界銀行プロジェクトの標準約款</b> として採用され、現在も世界中の世銀案件プロジェクトに使用されている。
1990(平成2)年 ～1992(平成4)年	国際商業会議所 (ICC) 日本国内委員会請求払い保証拡大委員会委員として、「ICC 請求払い銀行保証状規則」の作成・検討に参画した。本規則は1992年4月パリの国際商業会議所 (ICC) より正式に公表され、現在様々な国際プロジェクトで採用されている
1991(平成3)年 ～2001(平成13)年	(社)日中経済協会・日中技術設備契約モデルフォーム委員会委員長として、日中間のプラント取引契約モデルフォームを中国対外経済貿易部と共同で作成した。(平成13年2月に完成、同9月に出版。全288ページ)
2010(平成22)年 ～2011(平成23)年	経済産業知的財産室主催「ビジネスと知財のかたち懇談会」の委員を委嘱された。

#### ■ 主な所属学会

日本貿易学会会員 (平成17年6月より平成21年6月まで同学会理事、平成23年6月より監事)
国際商取引学会会員
日本プロジェクトマネジメントフォーラム会員
プロジェクトマネジメント学会会員

#### ■ 受賞等

2003(平成15)年7月	(財) エンジニアリング振興協会第23回エンジニアリング功労者賞を受賞
---------------	-------------------------------------

#### ■ 研究助成金による研究

<input type="radio"/> 特になし
----------------------------

#### 社会における活動等

<input type="radio"/> 特になし
----------------------------

#### 大学運営活動等

<input type="radio"/> 大学評議会オブザーバー
<input type="radio"/> 就職・進路部長